





第99号

2024年 1月 1 日

発 行 所/神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Ta.) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360

(ホームページ) https://www.fukusei.jp/



《理 念》

(E-mail)info@fukusei.jp

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として 喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

新年

ロシアによるウクライナ侵攻は収まるどころか反転攻勢が続いており、いつ終わるのかが 見当もつかない。中東ではイスラエルとパレスチナガザ地区の戦闘が激しさを増している。 我が国の周辺でもミサイル発射や領海侵犯など不穏な動きがある。"新しい戦前"という言葉 が現実になってきていると感じる。

新型コロナウイルスが 5 類感染症へと変更されてから日常生活は平常通りとなり、街なか には賑わいが戻ってきている。一方で運送業をはじめ宿泊業や飲食業では人手不足が顕在化 し、深刻な問題となっている。医療業界も例外でなく、今年から本格的に始まる働き方改革 と合わせて大きな課題である。

昨年は関東大震災から 100 年の年であった。当時の内務大臣で、東京市長も経験した後藤 新平が首都復興の陣頭指揮をとったことはよく知られている。医師でもあった彼は日本統治 時代の台湾に民政長官として着任し、台湾の近代化に貢献した。彼の功績を顕彰した銅像が 国立台湾博物館の 3 階ガラスケースの中に展示されている。勲章も彫刻された立派なもので ある。出身地の岩手県水沢 (現奥州市) の公園にも大きな銅像が二つ建っている。近くには 記念館もあり、少し訛った肉声を聴くことができる。彼の語録に「金を残すのは下、仕事を 残すのは中、人を残すのが上の生き方だ」というのがある。名言である。

今年はテストウィド神父が御殿場の地にハンセン病療養所を開いてから 135 年になる。当 <mark>初からの</mark>理念を引き継いでこられた先輩諸氏の努力のお陰で今日に至るまで神山復生病院が 続いてきたことをありがたいと思う。今後も病院をしっかり継続していくためにも良い人材 を育てることが大切であり、その責任の重さを受け止める一年にしたい。職員の皆さん一人 ひとりの活躍に期待するとともに、平和で実りのある一年になることを願っている。

病院長 江藤秀顕



第35回 ハンセン病コ・メディカル学術集会に参加して

看護部長 杉山美貴子

11 月 17 日 (金)、時之栖において開催された、第 35 回ハンセン病コ・メディカル学術集会に参加しました。この集会は毎年、全国の国立ハンセン病療養施設が集まり、日々提供しているケアについて情報を発信し、共有していくことで、入所者の方の生活の質を上げていくために開催されています。今年は 21 年ぶりに、国立駿河療養所様が主催にて開催されました。神山復生病院は私立の病院ですので、この集会に参加するのは初めてです。今回の学術集会のテーマは「豊かさ、創造、支えあう入所者の幸せと多職種の役割」という内容です。現在、入所者の高齢化が進み、いかに生活を支えていくかが各施設の大きな課題となっています。

復生病院は平成 14 年に一般病院として新たにスタートし、その後も地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域に根差した病院として運営していけるよう、様々な取り組みを行ってきました。訪看ステーションや小規模多機能型居宅介護事業所の開設、更には介護医療院への転換や在宅療養支援診療所の開設と、新たなステージに向かって歩んでいます。在院者の方はこの変化に戸惑われたこともきっとあったはずですが、復生病院のためにいつも協力をして下さいました。このように、復生病院の現状を発表させて頂きました。

国立と私立の違いはありますが、入所者のために多職種が協力をして、より良いケアを提供していきたいと思う気持ちは同じです。この集会の参加をきっかけに、復生病院も駿河療養所様と協力をし、在院者の方のみならず地域の皆様のために、これからも尽力していきたい、と思いを強くした集会でした。







餅つき大会

マリアの家 管理者 小野雄大

輝かしい新年を迎えられ、大慶の至りでございます。本年もよろしくお願い致します。

先日 12 月 10 日に、本年度最大の行事「餅つき大会」を開催いたしました。はじめの計画では、マリアの家の駐車場を会場にする予定でしたが、雨天時も開催できるように神山復生病院外来ホールにて実施いたしました。前日から準備に取り掛かり、利用者さんたちとあんこを丸めました。皆さん、とても楽しそうに、お手伝いをして下さいました。当日は、餅を誤嚥しないかとヒヤヒヤしながら、餅をついたり返したりしました。しかし、皆さんが楽しそうに談笑されて、餅や汁粉や甘酒を召し上がられている光景を目にしました。

「リスクはあるけど、実施して本当に良かったな」と思いました。おかげさまで事故なく終了することができ本当に良かったと思います。本年も利用者の皆さんが、楽しく自分らしい生活ができるような支援や行事を計画するべく、頑張って参ります。どうかご支援・ご協力をお願いいたします。





今回のおすすめ



『なつみはなんにでもなれる』 ヨシタケシンスケ作 (PHP)

ヨシタケ シンスケ作 (PHP) の絵本です。

こどもの心の自由さ、それを受けとめる大人の心の豊かさを表している絵本です。想像 力豊かな作風を皆様もお楽しみ下さい。この一年も心豊かな日々でありますように。

紹介者 事務局 徳永美智子



介護医療院

クリスマス会



介護医療院 大石美幸

今年は、入所者様同士の会話も増え、とても賑やかなクリスマス会となりました。



ジングルベルの音楽と共にサンタクロースから、お一人ずつクリスマスカードが手渡されました。クリスマススイーツは、それぞれに好きな物が選べました。隣の方と「すごいね」「おいしいね」と、たくさんの素敵な笑顔が見られました。ボランティアさんによる「ピアノとオルガンの演奏会」ではみなさんの手拍子や歌声で盛り上がりました。

ホスピス病棟

ホスピス病棟 小出美之

今年は 4年ぶりにラウンジで一同会してクリスマスコンサート&ティータイムが開催されました。若者二人組のユニットでピアノと電子オルガンの演奏を堪能。聞き慣れたクリスマスソングでは手拍子で盛り上がり、皆できよしこの夜を唱和すると胸が熱くなるものがありました。演奏の後には N サンタさんから一人ずつに手作りクリスマスカードが渡され、ティータイムでは、栄養課お手製のスイーツの数々に舌鼓し、至福の時が流れました。

神様を賛美し御子の誕生を皆で祝福することができた喜びに感謝します。



座間キャンプ









クリスマス慰問



12 月 10 日 (日) 座間キャンプ内にあるカトリック教会の信者さんたちがクリスマス慰問に来てくださいました。毎年恒例の行事として病院を訪問して下さっていますが、昨今のコロナ禍で3年ほどはクリスマスカードをいただくだけでした。この日、米軍関係の神父様はじめ約 20 名の方が復生病院聖堂でクリスマスソングを歌って下さり、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。特に、介護医療院へ入所されておられるN様とホスピス病棟に入院されておられるM様の誕生日でしたので、"誕生日おめでとう"の歌を歌っていただき、共にお二人の誕生日をお祝いし、ご家族も座間キャンプの方たちも楽しいひと時を過ごすことが出来ました。







静岡雙葉学園

12月25日(月)は静岡雙葉学園から21名の生徒と先生がホスピスラウンジでクリスマスソングを若々しい声で歌ってくださいました。 静岡雙葉学園小羊会の病院訪問は約30年になるのではと思います。 毎年12月になると病院を訪問しクリスマスの歌を歌い、カードを配ってくださいます。

このようにして、復生病院にはたくさんの方々がサンタクロースとして訪問してくださっています。





外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(中原)	内科(北村) 皮膚科 (加藤)	休診	内科(江藤)	内科(江藤)	内科 (第 1. 3. 4 中尾) (第 2. 5 岡部) 皮膚科	休 診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

水曜日は休診となります。

皮膚科外来予定表

2月以降の診察は HP にてお知らせいたします。 もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



太田有史 医師	1月 6日(土)
加藤芙未 医師	1月 9日 (火)・ 16日 (火)・ 23日 (火)・ 30日 (火)
加滕天木 医剛	1月13日(土)
太田真由美医師	1月20日(土)
福地 修 医師	1月27日 (土)

~皮膚科診療曜日変更のお知らせ~

令和5年5月より、皮膚科外来の診療曜日が水曜日から火曜日へ変更となっています。 担当医師は【加藤芙未医師】です。みなさんぜひご利用下さい。



神山小学校音楽会



事務部 森田秀一郎

12月7日(木)に神山小学校(3年生・4年生)の音楽会がホスピスのラウンジで行われました。当日は、北駿音楽会での合唱曲の「一本の樹」を披露してくださいました。会場からのアンコールの声もあり皆さんには2回合唱していただきました。とても素敵な歌声で、入院患者さんや介護施設の利用者さんそして職員も元気をもらいました。また来年も聴かせていただくことを楽しみにしています。



編集 後記

あけましておめでとうございます。当院は今年創立135周年を迎えます。135周年を迎えられますのも、地域の皆さまをはじめたくさんの方々に支えていただいたおかげです。心から感謝いたします。コロナ禍のいろいろな制限もほぼ解除されてきました。皆様とお会いできることを楽しみにしております。今年もよろしくお願いいたします。次号もお楽しみに!

